### 第54回 →

### 「わたしの教育記録」

入選作品

全文掲載

### 主体的に外国語活動に取り組む児童の育成

~修学旅行での必然性のある外国語活動の実践を通して~

茨城県つくば市立吾妻小学校教諭 古屋雄一朗



性を感じさせたいという思いから始めま

が長く、小学校での外国語活動については

中学校での英語教師としての勤務経験

たく思っています。

含ある賞をいただけたこと、本当にありが米と課題をまとめたものが、このような名

児童が「やってみたい」「面白そう」と
児童が「やってみたい」「面白そう」と
大きった方に、小学生にもできるを見せてくれました。そして、この実践をうになるのだという可能性を感じていたお読みくださった方に、小学生にもできるを見せてくれました。そして、この実践をおきなるのだという可能性を感じていたお読みくださったいた遺藤知昭校長先生、また本実践を行う際にたくさんのご協力をしてくださった、つくば市立吾妻小学校の先本実践を行う際にたくさんのご協力をしていた。

古屋雄一朗



3年間続け、一つの区切りとして実践の成外国人観光客へのインタビュー活動を



### はじめに





新・学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向 けた授業改善を推進することが求められている。 活動で、どのような場を設定すれば児童が主体的に外国語学習に取り 組めるのかについて考え、実践してきた。

本稿は、どうすれば児童に外国語を学ぶことに興味や関心をもたせ、 外国語活動を主体的に学ぶことができるようになるのか、その在り方 について取り組んだ3年間の実践記録である。

とを考えた。 業を展開していくこ 話す必然性のある授

ある。 学んでいる。また、外国人留学生や研究機関に 間だけでなく、学校 む力を身に付けさせるために、 児童が外国語を使用して会話をする機会は決し 児童の約1割を占めている(平成30年5月現 勤める外国人の子供も55名在籍しており、 行事と外国語活動を いていくのかについて考える機会は少ない。 のように役立つのか、どのように社会と結び付 している 高く、多くの児童が学習塾や習い事で外国語を と出会うこともある。保護者の教育への関心も て多くなく、自分の学習している言語が将来ど しかしながら、こういった環境にあっても そこで、児童に主体的に外国語活動に取り組 海外での滞在経験のある児童も多く在籍 留学や研究機関等に勤務している外国人 外国語活動の時

外国語を

関連させ、

# 主題設定の理由

2

茨城県つくば市の中心に位置し、 周

囲は大学や研究機関などが立ち並ぶ文教地区で

本校は、

## (1) 外国人と実際に交流できる場の設定

ろを訪問する。 しており、各自、 プ別で自由に見学する。児童はとても楽しみに 鎌倉方面に修学旅行に行く。鎌倉では、 本校では、 毎年6月に六年生の児童が東京 計画を立てて興味のあるとこ グルー

# 自信をもって交流を行うための支援

国人観光客と英語で話をする活動を設定した。

この班別自由行動の時に、鎌倉に来ている外

語を活用するには絶好の機会でもある。 いる。児童にとって知らない外国人と接し、

現在、鎌倉には多くの外国人観光客が訪れて

英

(2)

各自の負担を軽減できるようにアドバイスした。 も練習を重ね、 ことがわからないときに使う表現などについて 児童に繰り返し練習させた。相手の言っている ジ資料1参照)にまとめておき、授業の導入で したパターンを用意し、ワークシート(次ペー ◆表現の精選とワークシートの活用 また、個別に伝えたいことや知りたいことに 話しかけるための表現や自己紹介などは統 班の中で役割分担をすることで

3

準備

### 〈資料 1 平成 29 年度ワークシート〉

6th graders Class \_ Name ロロは何しに日本へ? OMISSION インタビューをしよう! 6年生の修学旅行の1日目の自由行動の時に,外国人の方にインタビューをしてみよう。 さぁ,勇気を出して,インタビュー! 日本語 英語

Excuse me. May I speak to you? Do you speak English? 〈依頼文を見せる〉

Please read this. Here you are. We are elementary school students. We are from Tsukuba Tharaki We are here on a school trip.

May I ask some questions? 1 What is your name? (May I have your name, please?)

2 Where are you from? (Which country do you come from?)

3 Why do you come to Japan? (What is the purpose of your stay?)

〈理解できない時〉 I'm sorry, I can't understand. Could you say it again please?

Thank you (for answering our questions).

Have a nice trip! Good-bye.

ETとのリハーサルという形で、スモールステ

斉での練習→グループ内での練習→そしてA

を実施した。

手を外国人観光客に見立てることで、

日

[々接

信がない」という緊張や不安を解消するために、

\*実際の場面を想定したリハーサル的活動 児童の「本当にできるのか」「話しかける自

すみません,お話してもいいですか。 英語を話せますか?

これを読んでください。どうぞ。 わたしたちは小学生です。 茨城県のつくば市から来ました。 わたしたちは、修学旅行でここにいます。

質問してもよろしいですか? (1)名前は何ですか? (名前を聞いてもいいですか?)

②どこから来ましたか? (どちらの国から来ましたか?)

③なぜ日本に来たのですか? (あなたの滞在の目的は何ですか?)

すみません, 理解できません。 もう一度お願いできますか?

(質問に答えてくれて) ありがとうござい ました。

楽しい旅をお過ごしください。さようなら

自信を身に付けていく。 プで授業を進めた。 児童は自分たちだけでも表現できるという この 小さな積み重 ね

伝えられるということを例示しながら、

児童

十分に表現に慣れ親しませた。

工夫を促し、

繰り返し何度も練習をすることで、

援をした。ジェスチャーや実演を行うことでも

ついてはグループごとに英語表現を精選し、

内の中学校の英語教員を相手にも、 童もいた。 その表現を教えてほしい」といったような、 番を具体的に想定した上での質問をしてくる児 また、 その中で「一緒に記念写真を撮りたい 同じ市内に勤務しているAET IJ 1 ゖ

初めて会った人 緊張感が生ま では得られな しているAET ħ V

できる 習をすることが に話しかける 練

の準備 に話しかけられ 日本人の小学生 にとって、 人へメッセージ ▼教師から外国 外国人観光客 突然

児童が今まで会ったことの や学区 ない 0) 0 で、 相 ル

えられるとも限らない。 児童が、 ることは唐突で、 インタビュー 理 解が の理由を言葉で明確に伝 できない場合もあ る

てもらえる 習者であるので、 この活動の趣旨、 紙を綴じ込むことにした。 活動が教師からの課題であることを説明した手 の手紙により、 ほしい旨が記載されている そこには、協力してくださることへのお礼と、 そこで、児童の修学旅行のしおりには、 最初にこの手紙を外国人観光客に見せる。 そして、 ゆっくりとわかりやすく話 外国人観光客に状況を理解 児童が初期の英語学 児童は話しかけたと (左資料2参照)。

(

〈資料2 教師からのメッセージ〉

Dear volunteers.

Thank you very much for your giving our students a chance to speak with you. I, Furuya Yuichiro (Japanese English teacher), teach English in Azuma Elementary School in Ibaraki Pref. They are the 6th graders and their English is at a beginner's level. Now they are here on a school trip. This is the second day for them. This is their homework on this school trip. This is the first time they will speak to foreign people allowing them to use their conversation skills. So please speak slowly and clearly.

We think this is a wonderful experience for the students and hope it will be for you, too.

We appreciate your kindness and time. Thank you also for helping our students.

は、新教材『We

第六学年で

Sincerely yours,

を送ってもらえるようお願いを記載した。

それが外国語でコミュニケーションができたと ビューするだけでなく、双方向のやりとりが可 て他の国へもたらされたという証明にもなる 能となり、自分たちが作ったものが、海を越え いう達成感にもつながると考えた。 返信する場所を用意することで、ただインタ ※スペースの関係上、平成29年度の実践は

鎌倉を訪れている

外国人観光客に

その

平成30年度

という課題を設定した。

観光客に日本文化のプレゼンテーションを行う

割愛させていただきました

本校では、 新 • 学習指導要領に対応できる

書かれており、帰国した際には、

撮影した写真

よう、 数を増やし、 年生と六年生で 外国語活動 週の時間 <u>Fi</u>.

Japan」という Welcome to 業を行っている。 外国語活動の授 て教科担任制で Can! 2』を用い この「Unit 2

組めるのではないかと考え、鎌倉にいる外国 とで、教科書の学習内容を、より意欲的に取 っている。この教材を修学旅行と関連付けるこ ている。 日本のよさについて考えさせることを目標とし 単元では、季節と絡めながら日本の行事や食文 この単元で紹介される日本文化は多岐にわた 芸能について取り上げ、外国人に伝えたい

お土産として自国に持ち帰ってもらうことに るものをプレゼントすることで歓迎の意を伝え、 そして、外国人観光客に何か日本文化に関す 28年度と同様に、メッセージカードも用意 返信を期待できるようにした。

5

時間確保してい の時間を週に2

## 授業の様子

で聞き取ろうとする子供の姿が見られた。"One 画教材を視聴する際には、 紹介という課題を設定することで、 れている。 動画教材を見て理解を深める課題が多く設定さ 単元を通して、外国人観光客への日本文化 Unit 2 Welcome to Japan わかるようになるま の学習内容は 教科書の 動 0)

39 ) |小三教育技術 | 2019.2/3

対して、自分が興味のあることを質問し、 外国人との交流を目的とした。 をプレゼントするという活動を展開した。 お礼として、メッセージカードと折り紙の作品 平成28年度 4 メッセージカードにはEメールのアドレスが 初年度に行った実践では、

インプットを与えた。 えたりと、理解が進むようにできるだけ多くの 唱したり、ジェスチャーを交えて表現を言い換 児童が聞き取りにくい表現や出てきた単語を復 意欲的に耳を傾けていたようだった。教師側も more time, please."という言葉が何度も聞かれ、

ずチャンツを行い、毎時間練習をした。 心に、原稿の定型を提案し、授業の最初には必 "Welcome to Japan." "Have a good stay." や中 いた表現 "We have ~ ." "You can enjoy ~ ." を配付した。教科書のチャンツで用いられて 童が使いそうな表現をまとめたワークシート 話しかける台詞の原稿を作成する際には、児

するようにアドバイスし、"This is ~ ." や "Let's 明しやすい身近な食べ物や遊び道具などを紹介 とを勧めた。歌舞伎や落語などより、自分が説 また、日本文化の紹介は、実物を持参するこ

ちのプレゼンテー 作成して、自分た 方を示した見本を 間に折り紙の折り ションを推奨した。 したプレゼンテー った実演を中心と すると、休み時

> 紙など、自分の得意な作業に積極的に取り組み はあまり目立って話をしない女子児童も、 めの方法を考え、練習に取り組んでいた。普段 とりの練習をしたりと、各グループが自分たち 役割の中心となっていた。 のプレゼンテーションをわかりやすく伝えるた 入した材料で作ったお手玉を持参したり、あや ションの手段にしたり、100円ショップで購 折り

しで聞き入っていた。 取り組んでいた。英語が得意な子に任せっきり 行き発表をし、アドバイスに対して真剣な眼差 役割を確認し、繰り返し様々な先生のところへ にすることなく、みんなが当日に向けて自分の のリハーサルでは、多くの児童が何度も練習に 修学旅行前日の、AET3名と中学校教員と

# 6

グループ内での協力する姿がよく見られた。 て自分の役割を果たす姿が見られた。 ゼンテーションの中心となったりと、 る役割を担ったり、英語が得意な児童がプレ に話しかけるという不安感もあっただろうが 長い英文を話すのが苦手な児童が話しかけ いよいよ自由行動が始まった。知らない人 協力し

> れてよかった。という安心感と達成感にあふれ 文化をプレゼンテーションすることができた。 で粘り強くコミュニケーションに挑んでいく姿 に、児童の成長を見とることができた。 結果、全てのグループが外国人観光客に日本 自由行動を終えた児童は、〝できた〟〝伝えら 英語を母語としない観光客もいたが、最後ま



## ふり返り

7

を がった」というコミュニケーションが成立した い出に挙げた。感想の多くは、「伝えられてよ 国人観光客へのプレゼンテーションを一番の思 国人の満足感だった。

反省も多く見られた。

「早口になってしまった」を欲につながいなものから、「発音が上手になりたい」「もっと話的なものから、「発音が上手になりたい」「どんのない」「早口になってしまった」といった初歩

できようになることがわかった。
ことを実感し、主体的に学習に取り組むことが学習している外国語が実社会と結び付いているとを実感し、主体的に学習に取り組むことがの中で英語を使うことで、児童は今ような状況の中で英語を使うことで、児童は今にもい」という動機付け

することができた。で、児童にとって必然性のある言語活動を実現り、情報収集を行ったりする機会を与えることり、情報収集を行ったりする機会を与えること

児童へのアンケート調査では、29年度は99%

有用性を十分に感じたことがわかる。 「英語はすごいと思いました。世界の人とも 「英語はすごいと思いました。世界の人とも が、30年度は、96%の児童が「英語は将

欲的な感想を書いた児童もいた(資料3)。今りたい」「英語が好きになった」などという意るようになりたい」「一人でもできるようになまた、「もっと上達して社会に出てから使え

8 今後に向けて

まが大切である。 担任をどのように巻き込んでいくかが鍵であると痛感している。担任みんなが関わり、児童の 学習への取り組みを称賛したことで、児童がこ の活動へ挑むモチベーションはさらに強化される。専門性のある英語担当教員と学級担任の連 る。専門性のある英語担当教員と学級担任の連 携が大切である。

また、児童の意欲的な活動を引き出すためにまた、児童の意欲的な活動を引き出すためによっている。このつくばスタイル科」として独自の学習を行っている。このつくばスタイル科」として独自の学習を行っている。このつくばスタイル科」として独自の学習を行っている。このつくばスタイル科の単元計画や特別活る。このつくばスタイル科」として独自の学習を行っている。この学校行事にあてる時間を含めてカリキュラは、長期的で大胆な単元計画が必要である。つなが、長期的で大胆な単元計画が必要である。つなが、表情が表情が表情が表情が表情がある。

後も進めていきたい。
こうした実践を地域や保護者にも発信し、今ある取り組みの一つとしたい。

きなしたいです。

が国人と少し話せるようになった。

日見で話すことができた。

実語が、女子になった。

〈資料3 児童の感想〉

世界の人とも話せるし、勉強しててと、てもたのしかけたです。までは人と会話することがまななので、大人になったら、世界の人とも楽しく

英語はないいと思いました。

外国の方がとても優しくて、良かったです。 これからも、英語を勉強したいと思いました、

41 ) |小三教育技術 | 2019.2/3